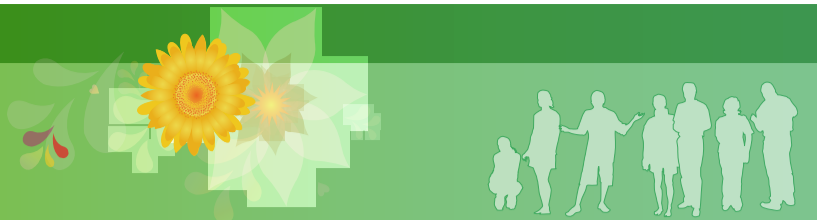


平成29年第1回定例区議会

一般質問 (要旨)



※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

たかざわ 秀行 (千代田)

いじめが起こりにくい環境

問 うれしかった出来事を投書箱に書き入れ、給食時の校内放送で読み上げるハッピーボックスという取り組みが他自治体で行われている。いじめ防止に向け、本区でも導入しては。

答 他者を尊重し、協力し合う態度を育成していく上で意義ある取り組み。参考とし、各校と情報を共有する。

九段中等教育学校増築

問 ①九段校舎のグラウンドに増築することとなった経緯は。狭くなることで影響はないか②富士見校舎の今後は。

答 ①富士見校舎を連絡通路で結ぶ計画に問題があり、九段校舎敷地内に増築することとした。グラウンドの有効面積に影響が出ないよう設計する②校舎増築後の利活用については今後検討。

飯島 和子 (共産)

子どもの入院給食費に助成を

問 子ども医療費助成は、約50万円まで可能な入院給食費も対象にすべき。

答 施策のバランスを勘案しつつ、総合的に子育て世帯の負担軽減に努める。

原発避難者いじめの対応ほか

問 いじめは大人社会の反映。原発事故の現状を科学的に理解し、被害者である避難者の状況への誤解を払拭するための取り組みを、教育行政も含め学校関係者を対象に行うことを求める。

答 防災や放射線の教育を実施しているが、改めて原発事故や避難者の心情への理解を深める。同時に子どもの心のケアを徹底、必要な指導を推進する。
※この他、核兵器廃絶のためのヒバクシャ国際署名に賛同し、協力することを区長に求めました。

牛尾 耕二郎 (共産)

子どもの成長・発達第一の学童を

問 ①区長が述べた、学童クラブの運用改善とは②学童クラブの増設を。特に人口増が予想される神田地区へ設置を③大規模なクラブは分割し、定員を40人以下にすべき④民間学童クラブの人件費への補助金が、職員の給与に反映されていない。区の認識は⑤区立児童館・学童クラブの正規職員増員を。移転する四番町児童館は特に必要では。

答 ①他施設の転用や改修等で定員拡充を図った②次年度、麴町地区で私立クラブ増設を目指す。神田地区は既存クラブの運用改善等を検討③施設の制約があり、全て40人以下にするのは困難④事業者に賃金台帳の提出を求め等、適正に対応する⑤職員定数条例に基づき適正に配置。四番町児童館には非常勤職員を1名増員し、所管職員と協力して移転準備を進めている。

岩田 かずひと (民進ク)

高齢者施設で新しい体操の運用

問 健康寿命を延ばすため、負荷や手間が少ない体操を専門家指導のもとで行うべき。特に新たな刺激になるソフト空手導入の検討を。

答 65歳以上の方向けに、体操教室や介護予防公園の整備を行っている。また、新たな運動導入には、高齢者の事故防止に注意した慎重な検討が必要。

避難者の方に住宅支援継続を

問 3月末終了の支援は、避難者や被災地の現状を考慮し、継続すべき。区長と都知事の太いパイプを使い、現在の住宅と同条件で継続居住の要請を。

答 終了は国と被災県の協議での決定。当区だけの継続は難しい。ただし、避難者の悩み等を受け止める身近な窓口として、関係機関と連携していく。

林 則行 (千代田)

歯科健診に歯のクリーニングを

問 ①歯科健診の受診率向上のために、健診時にクリーニングの実施を②乳幼児の健診時に無料でフッ素塗布を。

答 ①先例自治体では受診率の向上につながっていないこと等から、実施は考えていない②治療には低額負担で実施中。予防目的には個人負担とすべき。

史跡江戸城外堀跡保存管理計画

問 ①計画策定の経緯は②史跡内の建造物の取り扱い③景観の保全について。

答 ①史跡を文化財として保存する必要から、関係機関と委員会を組織し、策定②多くの民間施設があり、撤去等は困難。所有者等に文化財価値の理解を求めていく③区境のため隣接区と意見交換・調整し、連携を図りながら外濠地区の景観の保全・誘導を行う。

小林 たかや (声)

千代田区人口ビジョンについて

問 区の人口推計では38年後、都では14年後がピーク。区の根拠、推計値に誤りは？都とのすり合わせはしないか。

答 推計値は将来人口の傾向を把握するためのもの。実数値との合致は困難。都とのすり合わせはしない。

公共施設等総合管理方針について

問 ①不確かな推計に基づいた方針は将来の見通しを誤る②個別施設の補修履歴等の、正確な施設カルテの作成を。

答 ①見直す数値ではないと認識②同様の内容で、施設の維持管理を実施中。

